西郷港ポートキャンパス～ココロとカラダに優しい街区

「海ーまち」の街は「船待ち」の場。出会いを待つ希望の空間を導きます

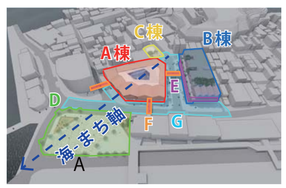
長い歴史において、西郷湾を守り続けた「間口」の地形。愛宕山と金峰山に挟まれた幅約 280m の「間口」の地形は、船で島を訪れる人にとって「島の玄関口」であり、港で船を待つ人々にとっては「間口」の間から静かに現れる船を見て、心浮き立つ「出会いの地形」でもあります。
私たちは西郷港のこれまでの都市軸に加えて、街から西郷港の「間口」へ向けた軸線を、海とまちをつなぐ新しい「**海 - まち軸**」としてエリアに導入します。エリア内のみち・場所・海との関係を再編し、島人、客人、誰もがくつろぎ、語らい、楽しめる街へと生まれ変わることで、島に暮らす楽しみ、海と暮らす喜びを未来につなげます。

コンセプト

「海 - まち軸」による街区の再編

「海-まち軸」を導入し、オープンスペースの立体的ネットワークをつくります。

- A **船待ち交流街区 (A 棟)**
- B **まちなかくつろぎ街区 (B 棟)**
- C **コミュニティ・エントランス (C 棟)**
- D **出会いの広場 (新設)**
- E **町営駐車場 1 の移設・立体化による エリア内通過交通の低減**
- F **エリア内街区の立体接続**
- G **歩行者空間の充実（臨港道路拡幅・ バス停、タクシー乗り場再整備）**



コンセプト

1 交通：エリア内通過交通を低減、街区間を立体接続

安全安心なウォーカブル街区を実現します。

町営駐車場 1 を B 棟 (まちなかくつろぎ街区) 内に立体駐車場として移設。街区間をブリッジ接続することで、キャンパス内の通過交通を低減し、エリアの歩行安全性を向上させます。地上部にバス・タクシー乗降場を再配置、フェリーターミナル前の臨港道路を幅員 15m に拡幅して歩道を確保。ウォーカブルなポートキャンパスを実現します。

整備前

整備後

コンセプト

2 交流と滞留：ココロとカラダを癒し、育てるキャンパス

町民のサードプレイスとなる船待ち交流街区：出会いの広場+ 船待ちテラス＋温浴施設＋島の大学を「海-まち軸」上に配置

出会いの広場：町営駐車場 1 跡地には、海の時間とまちを美しくつなぐ「出会いの広場」をつくり、お祭りなど様々なイベントに活用できます。多世代の島民が憩い、隠岐に流れる豊かな時間を共有する場所を育てます。

2F「船待ちテラス」：大階段を登ると屋根のある 2 階の吹き抜けの公共場へ。冬でも快適に船の往来を眺めて過ごせます。**大階段には無料で楽しめる足湯も設置**。テラスに面して中高生が運営しサードプレイスとなる**「YA(ヤングアダルト) プレイス」**を配置。

3F「健康温浴施設」+「島の大学」：旅の疲れ、仕事の疲れを癒す温浴施設は、ジャグジーテラスから海を眺めることができ、離島ならではの**海水温浴 (タラソテラピー)** で健康になれます。また、島の内外、多世代を対象とした**会所「島の大学」を設置**。交流と人材育成の場となります。

離島と大学の人材交流促進

中高生による運営

足湯による交流

コンセプト

3 商業：人々のふれあいをサポートする

沿道の店舗群と「隠岐フードホール」

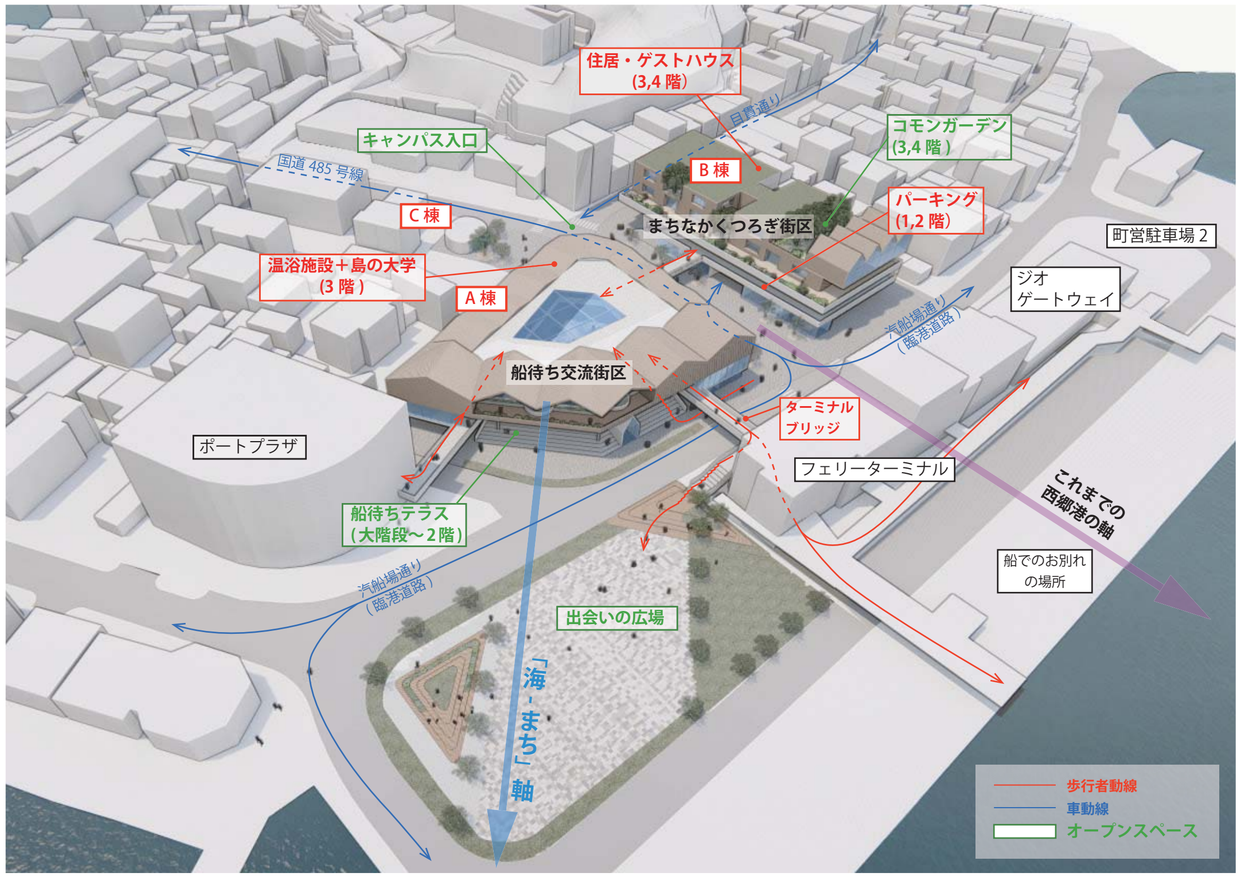
路面店舗：ポートキャンパスの中心を通る国道 485 号線、フェリーターミナル向かいの臨港道路に沿っては **B 棟 (まちなかくつろぎ街区) の 1 階に路面店**が並びます。広くなった歩道に屋外席も設置。**歩いて楽しいみち**の景観をつくります。

フードホール：A 棟 (船待ち交流街区) の 1 階には屋内のフードホールを設置。町民の方と協議し、**あんき市場**も移設することを検討し、**島内外の食の交流を促進**します。

チャレンジショップ：既存の店舗はもちろん、新しく島で創業するチャレンジショップも展開しやすい様に**小規模に分割可能なテナント設定**とします。

路面店の屋外席

フードホールのイメージ



コンセプト

4 暮らし：安心して住み続けられる居住区

生活の拠点となるまちなかくつろぎ街区

まちなかくつろぎ街区 (B 棟): 1，2 階は立体駐車場と店舗が占め、災害に対して安全な 3，4 階に住宅・ゲストハウスを配置します。A 棟やターミナルへは直接ブリッジで快適にアクセスできます。

既存の住民の皆さんと、短期～中期滞在のゲストハウス利用者は、**コモンガーデン**によって適度に距離感を持って生活できます。また海が見える 4 階海側の一角は、**シェアラウンジ**としてイベントなどに貸し出すことも可能です。

コンセプト

5 景観：キャンパスの賑わいが人々を出迎える。

隠岐の人々によって作られる参加型の景観づくり

船で「間口」を抜けて西郷港にやってくる人が、初めて隠岐のまちと出会うのが **「海 - まち軸」**上に見える**「出会いの広場」**、そして大階段から**「船待ちテラス」**につながる光景です。

広場で行われるイベントや、大階段で足湯を楽しむ人々、テラスでくつろぐ人々、上階には**温浴施設**を楽しむ人々の気配も感じられます。
初めて訪れる人も、帰ってくる人も、西郷港に降り立つ前に、ポートキャンパスの賑わいに出迎えられているような、まちの顔になる景観を目指します。

コンセプト

6 つながり、防災：安心・安全な学びの場

活動のつながりと人のつながり

キャンパス内のつながり：A 棟、B 棟、ターミナル、ポートプラザを新たにブリッジで接続し、駐車場からキャンパスのあらゆる場所に安全で快適にアクセスできます。

人のつながり：A 棟 3 階「島の大学」では、ジオゲートウェイで活動する専門家の皆さんと島民が学び合いの関係を深められるだけでなく、リモートで全世界と繋ぐ学びも行えます。

津波浸水と八尾川のはん濫の際に浸水地域に指定され、B 棟の一部は土砂災害警戒区域 (急傾斜) に指定。**居住区は 3 F 以上に配置**している他、2 F の**「船待ちテラス」が緊急避難場所**として機能します。

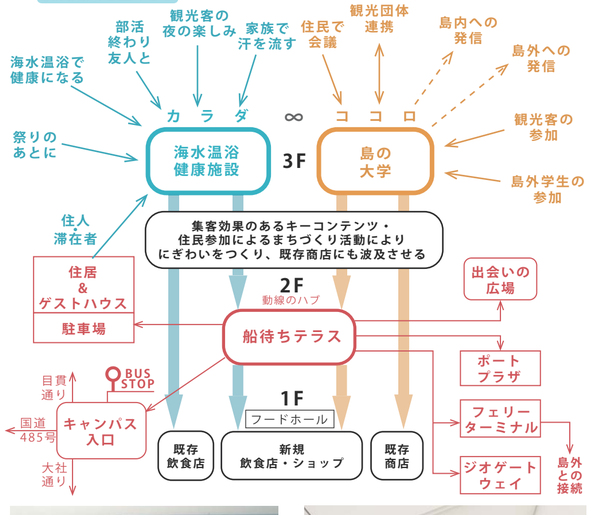
西郷地区のハザードマップ

マネジメント

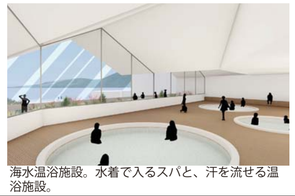
7 プログラムと空間の関係性

キーコンテンツのにぎわいを街区に波及させる空間構成

海を見ながら海水温浴を行い、心も身体もリフレッシュし健康になる「健康温浴施設」は、住民が一緒にまちづくりを行える「島の大学」と合わせて、にぎわいを創出する 2 大コンテンツです。これらを 3 階に配置し、2 階を回遊の中心を「船待ちテラス」とすることで、エリアのにぎわいをつくり、既存の商店やレストランなどへの波及効果を生みます。



海を見ながら入る海水温浴施設のイメージ



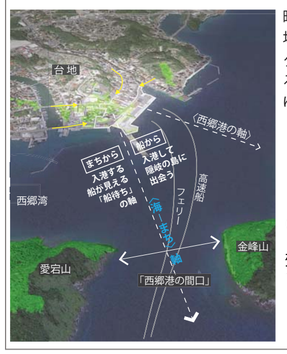
海水温浴施設。水着で入るスパと、汗を流せる温浴施設。

リサーチ

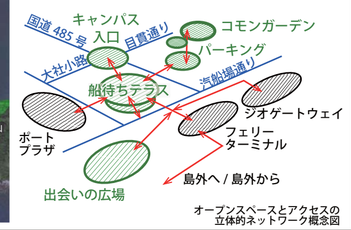
8 地形や周辺地域との関係性

玄関口として人々を迎え入れる

北前船の寄港地であった西郷港の玄関口に、新しい**「海 - まち」**の軸線をつくり、迎え入れる顔をつくりながら、隠岐の自然を感じるオープンスペースを整備します。



町営駐車場 1 を B 棟の北側に 2 層分の立体駐車場として配置します (52 台→58 台)。A 棟、B 棟、ターミナル、ポートプラザをブリッジで接続することで、駐車場からポートキャンパスのあらゆる場所に安全で快適にアクセスできます。



オープンスペースとアクセスの 立体的ネットワーク概念図

リサーチ

9 現状の課題を抽出する

あるいて、きいて、手を動かす町民目線の計画づくり

要綱や意見交換会の意見を反映するだけでなく、**実際に訪れて現地の人の話を伺い、**課題を抽出します。生活に根差した話も伺い、率直な現状を把握します。
基本計画の際にも**関西の学生を巻き込んだワークショップとしてヒアリングを行い、**そのプロセスから交流人口を増やし、より町民目線の計画づくりに反映します。

現地でヒアリングをする

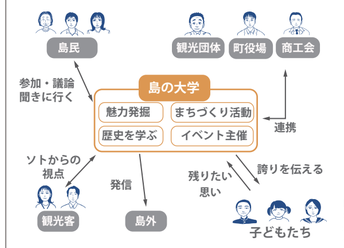
ヒアリング内容をまとめて議論する

マネジメント

10 島の大学という拠点

島の魅力を知り、子どもたちにつないでいく

住民・町役場・観光団体と大学の連携によって地域のまちづくりを行ってきた実績のあるチームによるサポートの元、大学のない隠岐の島に「島の大学」を作ります。
交流の中でまちづくり活動を行う人材育成・体制づくりを行います。



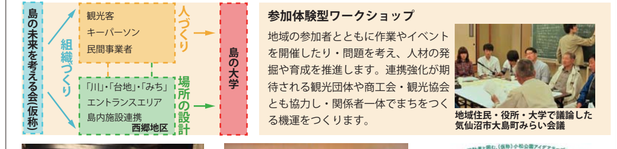
「国道」「目貫通り」「西町通り」を中心に、「川」「台地」をつなぐ**「回遊ライン」**とし、周りの居住区や古民家で扱うコンテンツを議論し、WS で意見のあった「子ども食堂」等、住民の方の挑戦したいことから誘致し、にぎわいをまちなかに引き込みます。

マネジメント

11 計画の進め方

ハードの設計と並行してソフトをつくる

基本計画の段階から、ハードの計画を進めながら、実績を含んだ人材育成、発掘のサポート体制により、住民皆が使いこなせる体制をつくり、島の大学の立上げ・初動を共に行います。



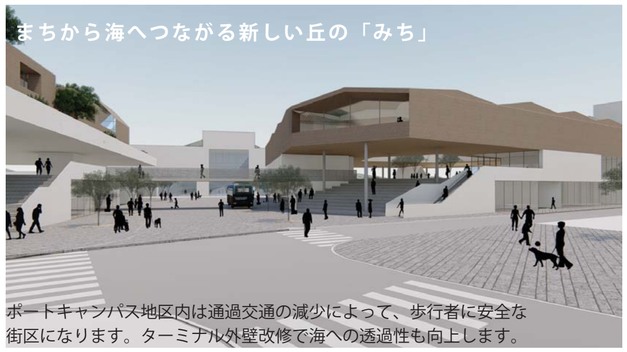
○島の文化を学生が滞在して学び ソトの視点から魅力を発掘する

○模型を用いて具体的に議論する 住民ワークショップ

○現地で大きさを体験しながら 活動を行ってみるイベント

「海 - まち軸」に沿って広場で行われるイベント、大階段で足湯を楽しむ人々、テラスでくつろぐ人々、温浴施設の賑わいが出迎えます。

「海 - まち軸」に沿って海を眺めると、「西郷港の間口」から船が静かにあらわれる光景に心が湧き立ちます。



ポートキャンパス地区内は通過交通の減少によって、歩行者に安全な街区になります。ターミナル外壁改修で海への透過性も向上します。

吹き抜けの２F テラスを囲んで３F には健康温浴施設と会所「島の大学」の賑わいが広がります。

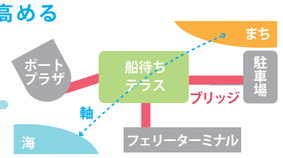
ターミナルからまちへ出ると広い歩道上には路面店、屋外カフェが訪れた人々を歓迎。バスやタクシーへの乗り継ぎも容易です。

デザイン

12 ポートキャンパスの中核施設

a. 各施設間を連携し回遊性を高める

「海 - まち軸」上に整備する A 棟は広場のある２F レベルで周辺施設と接続します。駐車場からエリア内の各所に安全・快適にアクセス可能です。



b. 歩いて楽しいコンテンツの配置

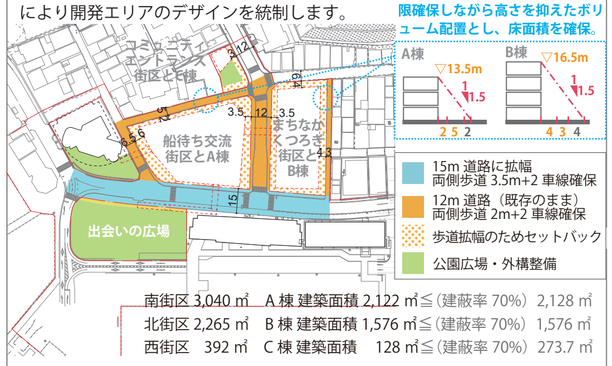
A、B 街区をつなぐルートに生活に根ざしたコンテンツを分散配置。西郷港玄関口エリア全体にとっても生活サービス拠点となります。

既存施設と本提案の規模

温浴施設	939 ㎡ / 1 店舗	(新しく整備)	
島の大学 ,ｻｰﾄﾞﾌﾟﾚｲｽ	2365 ㎡ /11 箇所	(新しく整備)	(新しく整備)
商業（喫茶・食事）	855 ㎡ /13 店舗	うち 8 店舗既存（約 800 ㎡）	+5 店舗
商業（居酒屋・ｽﾅｯｸ）	283 ㎡ / 5 店舗	うち 4 店舗既存（約 300 ㎡）	+1 店舗
商業（美容）	105 ㎡ / 2 店舗	うち 2 店舗既存（約 100 ㎡）	
商業（レンタカー）	87 ㎡ / 3 店舗	うち 3 店舗既存（約 100 ㎡）	(1 区画集約)
商業（物販店）	213 ㎡ / 4 店舗	うち 3 店舗既存（約 300 ㎡）	+1 店舗
商業（産直市）	230 ㎡ / 1 店舗	うち 1 店舗既存（約 100 ㎡）	+130 ㎡
居住（ｹﾞｽﾄﾊｳｽ含む）	1706 ㎡ / 24 世帯	うち 17 世帯既存(約 1500 ㎡)	+7 世帯
駐輪場	160 ㎡ /28 台	うち 28 台要項より (約 160 ㎡)	
駐車場	2074 ㎡ /58 台	うち 52 台既存（約 2000 ㎡）	(立駐化)

c. 業務内で柔軟に対応出来る面積配分のための区画整理

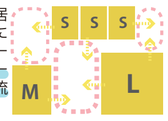
適材適所の道路整備とセットバックにより、ゆったりとした歩いて楽しい歩行空間を確保します。また道路舗装や外構整備により開発エリアのデザインを統制します。



南街区 3,040 ㎡　A 棟 建築面積 2,122 ㎡≦（建蔽率 70%）2,128 ㎡
北街区 2,265 ㎡　B 棟 建築面積 1,576 ㎡≦（建蔽率 70%）1,576 ㎡
西街区　392 ㎡　C 棟 建築面積　128 ㎡≦（建蔽率 70%）273.7 ㎡

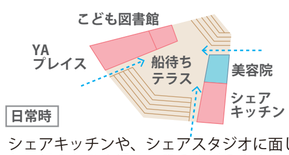
d. ここにしかない暮らしを体験

大きさの異なる住居は多様なすまい方に対応し、コモンガーデンはプライバシーを確保しつつ、交流を促します。

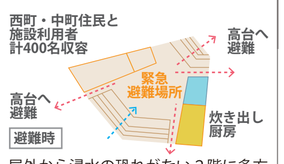


空き家となった居室は、島への移住を検討している方や、ジオパーク研究など中長期のゲストハウスとして活用します。

e. 日常的なサードプレイスが災害時の避難所となる多機能な半屋外広場



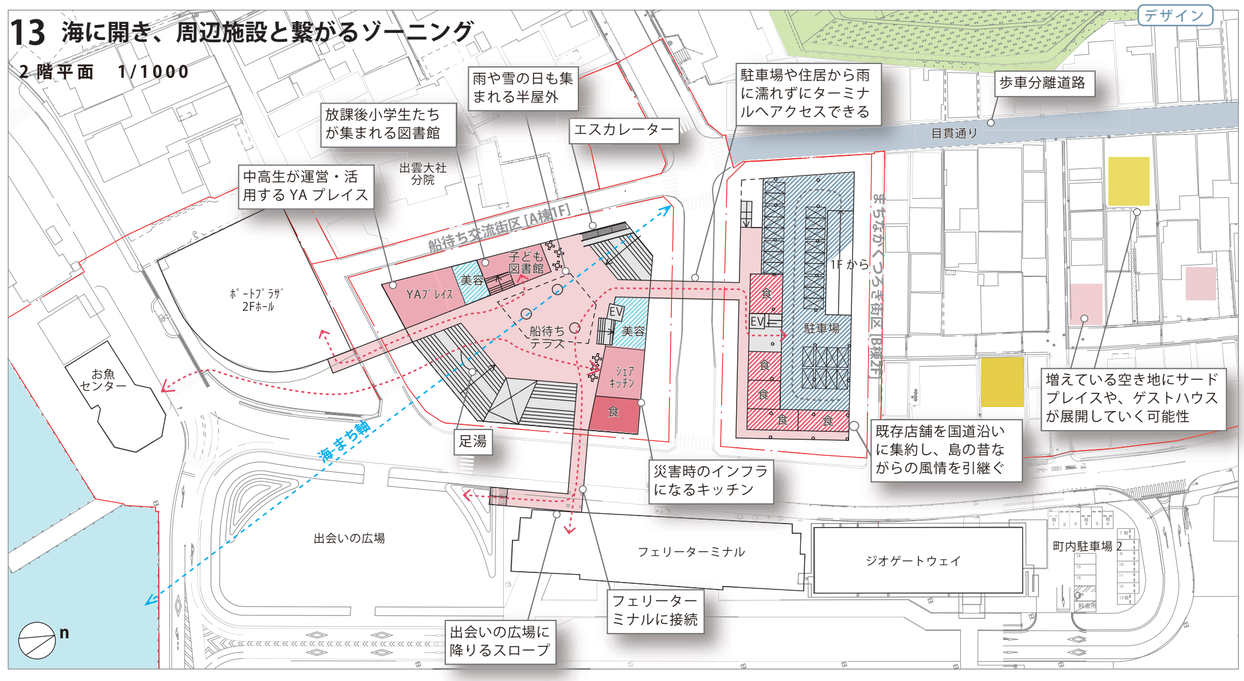
シェアキッチンや、シェアスタジオに面した屋根のある広場は、島の大学の中心として多様な活動が展開できる場所です。

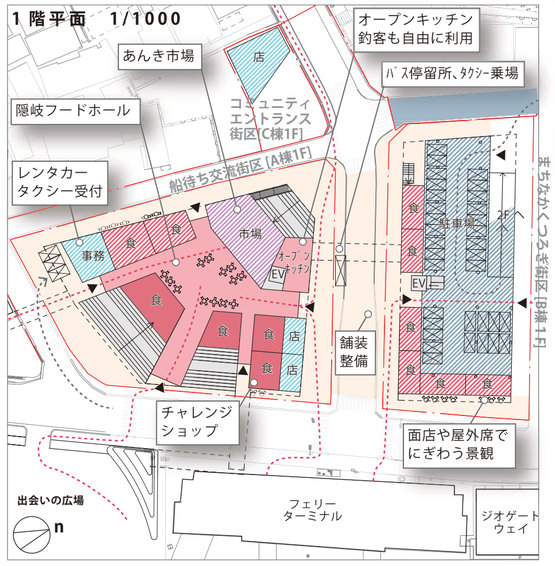


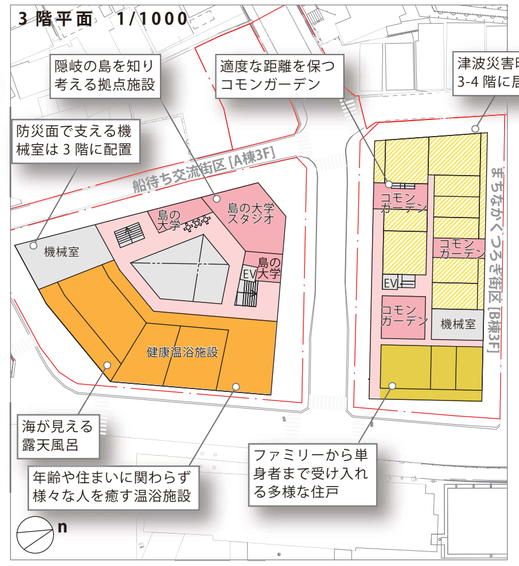
屋外から浸水の恐れがない２階に多方面からアクセスしやすく、シェアスペースは炊き出しなどに活用します。

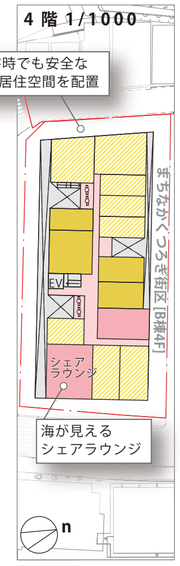
デザイン

13 海に開き、周辺施設と繋がるゾーニング









デザイン

14 １年中暖かい、港のコモンズ空間「船待ち交流街区」

「海 - まち軸」に沿って、街から海へのつながりをつくる 2F「船待ちテラス」。吹き抜けの３階には交流フロア、１階には隠岐の食を楽しむホール。１年中、日没後も暖かい光を放ち、ポートキャンパスに安心感を与えます。